

令和7年度

水利施設等保全高度化事業金抜設計書

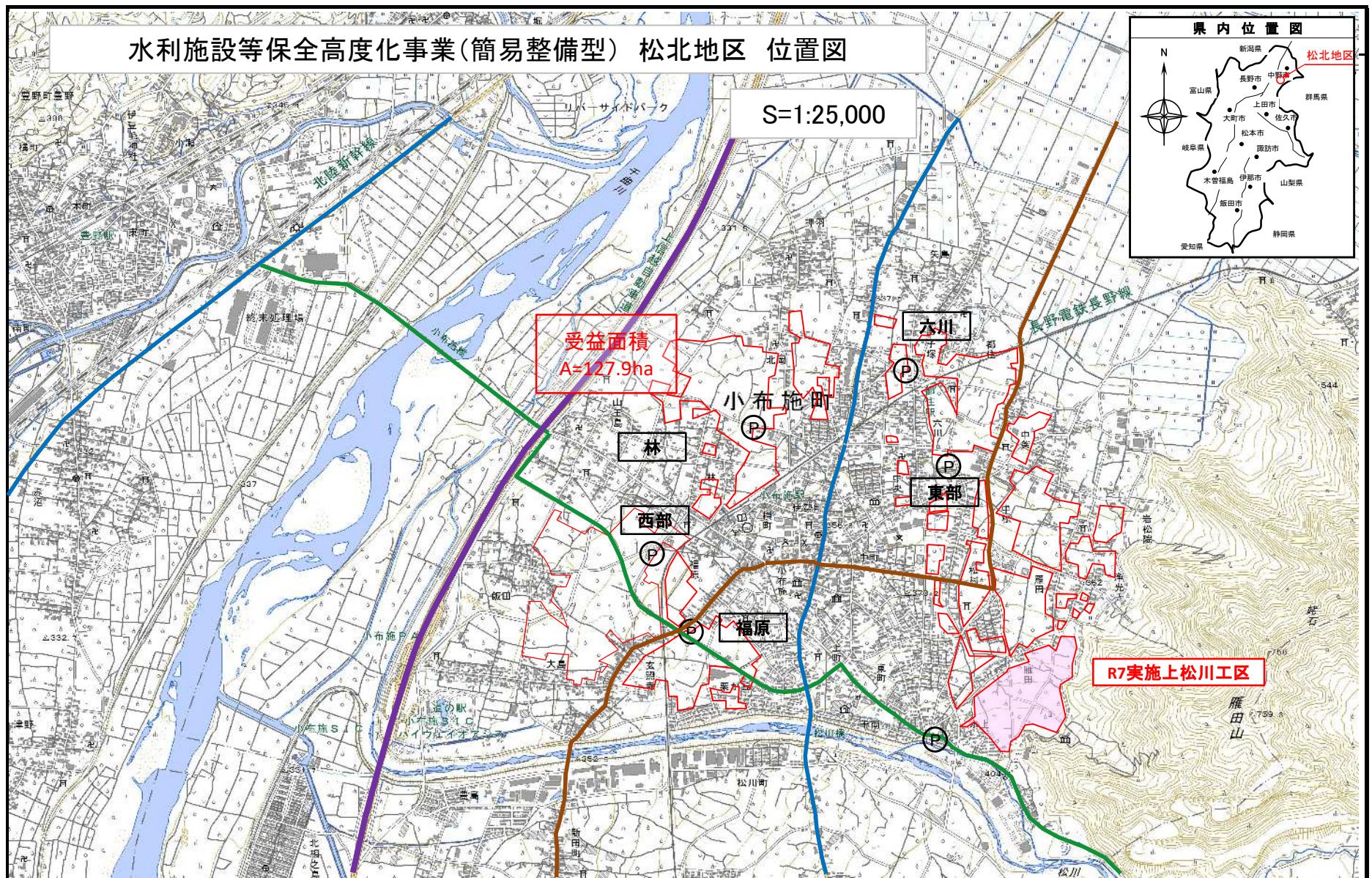
(簡易整備型)

当 初

地 区 名 松北

所 在 地 上高井郡小布施町

事 業 主 体 小布施土地改良区



令和7年度 水利施設等保全高度化事業 松北地区 電磁弁改修工事 特別仕様書

第1章 総則

この工事の実施に当たっては、長野県農政部制定「土木工事共通仕様書」（以下「共通仕様書」という。）、「土木工事現場必携」、「設計変更ガイドライン」、「工事一時中止に係るガイドライン（案）」、長野県農政部制定「土木工事施工管理基準」を適用する。
共通仕様書に対する特記及び追加事項は、この特別仕様書によるものとする。
なお、以下の選択項目において「■」を付したもののが、選択されていることを示す。

第2章 工事内容

1 目的

この工事は、表題の事業の一環として、松北（上松川工区）の給水弁を電磁弁に改修するものである。

2 工事場所

閲覧設計書に記載のとおり

3 工事概要

工種	内容	単位	数量	摘要
給水弁改修	電磁弁 φ 50 mm	箇所	97	
	電磁弁 φ 40 mm	箇所	1	
	給水弁保護工（耕地内）	箇所	58	
	給水弁保護工（道路埋設）	箇所	1	
排泥工		箇所	4	

4 工事数量

- 設計書のとおりである。
- 設計書のとおりである。ただし、次の工種等については、概算数量、概略数量である。

区分	工種、種別又は細別	内容	単位	数量	摘要
概算数量					
概略数量					

(注) 概算数量発注：工事発注に当たり、あらかじめ契約条件（変更条件）を明示の上、標準断面等により数量算出を行うなど標準的な設計図書で発注し、細部は設計変更によって処理する方式

概略数量発注：当初設計において、工種、種別又は細別の一部を一式計上により算出した予定価格を用いて、入札を行う方式

<https://www.pref.nagano.lg.jp/gijukan/infra/kensetsu/gijutsu/gairyakuusuuyouhaccyuuhousiki.html>

5 遅延2日工事

本工事は、発注者指定型遅延2日工事の対象工事である。「遅延2日工事実施要領」に従い取扱組もものとする。
（参照）「遅延2日工事実施要領」及び同要領の取扱い

<https://www.pref.nagano.lg.jp/heehi/syushukyuu2ka.html>

6 施工箇所が点在する工事の積算方法の試行工事

- 該当
- 非該当

(参考) 施工箇所が点在する工事の積算方法に関する試行要領

<https://www.pref.nagano.lg.jp/nochi/tenzaikouzi.html>

7 熱中症対策に資する現場管理費の補正

本工事は、熱中症対策に資する現場管理費の補正の試行工事の対象とし、日最高気温の状況に応じた現場管理費の補正を行う対象工事である。

(参照) 热中症対策に資する現場管理費補正の試行要領

<https://www.pref.nagano.lg.jp/nochi/neccyuuusyoutaisaku.html>

8 運搬費及び準備費の実績変更

(1) 本工事は、「共通仮設費（率分）のうち運搬費及び準備費」の次に示す経費（以下「実績変更対象経費」という。）について、工事実施に当たって積算額と実際の費用に乖離が生じた場合は、実績変更対象経費の支出実績を踏まえて最終精算変更時点で設計変更することができる。
運搬費：建設機械の運搬費 準備費：伐開・除根・除草費

(2) 本工事における実績変更対象費の割合は、長野県公式ホームページによる。

(参照) 共通仮設費に対する実績変更対象費の割合

<https://www.pref.nagano.lg.jp/nochi/jiltusekikenkoutaishouhi.html>

(3) 受注者は、(2)により発注者から示された割合を参考にして、実績変更対象経費に係る費用の内訳について設計変更の協議ができるものとする。

(4) 受注者は、最終精算変更時点において、発注者が別に示す実績変更対象経費に関する内訳書（以下「内訳書」という。）を作成するとともに、内訳書に記載した計上額が証明できる書類（領収書又は金額の妥当性を証明する金額計算書）を添付して監督員に提出し、設計変更の内容について協議するものとする。

(5) 受注者の責めに帰すべき事由による増加費用と認められるものについては、設計変更の対象としない。

(6) 発注者は、実績変更対象経費の支出実績を踏まえて設計変更する場合、「土地改良事業等請負工事共通仮設費算定基準に基づき算出した額」から「内訳書に記載された共通仮設費（率分）の合計額」を差し引いた後、「(4)の証明書類において妥当性が確認できた費用」を加算して算出した金額を設計変更の対象とする。

(7) 発注者は、受注者から提出された資料に虚偽の申告があった場合、法的措置、指名停止等の措置を行う場合がある。

(8) 疑義が生じた場合は、受発注者間で協議するものとする。

9 1日未満で完了する作業の積算

(1) 本工事における1日未満で完了する作業の積算（以下「1日未満積算基準」という。）は、変更積算のみに適用する。

(2) 受注者は、施工パッケージ型積算基準と乖離があつた場合に、1日未満積算基準の適用について、協議の発議を行うことができる。

(3) 同一作業員の作業が他工種等の作業と組合せで1日作業となる場合には、1日未満積算基準は適用しない。

(4) 受注者は、協議に当たって、1日未満積算基準に該当することを示す書面、その他協議に必要な根拠資料（見積書、契約書、請求書等）により、施工パッケージ型積算基準との乖離が確認できない場合には、1日未満積算基準は適用しない。

(5) 災害復旧工事等で人工精算する等、1日未満積算基準以外の方法によることが適当と判断される場合には、1日未満積算基準を適用しない。

(参照) 1日未満で完了する作業の積算について

<https://www.pref.nagano.lg.jp/nochi/kensetsukouji-itaku.html>

10 LCT活用工事

□ 本工事は、発注者指定型LCT活用工事である。

□ 本工事は、施工者希望型LCT活用工事である。

LCT活用工事に取り組む場合は、長野県農政部「LCT活用工事実施の手引き」による。(参照)LCT活用工事について

<https://www.pref.nagano.lg.jp/nochi/ietkatuyoukoushitebiki.html>

11

□ 本工事は、遠隔臨場の導入を検討する工事である。

受注者は、遠隔臨場の導入をするか否かを含め、通信環境、ウェアラブルカメラ等の機器、費用等を確認の上、工事打合せ簿により監督員と協議を行うものとする。

- 本工事は、受注者の実施希望により、遠隔臨場の導入を検討する工事である。

受注者は、遠隔臨場の導入を希望する場合には、通信環境、ウェアラブルカメラ等の機器、費用等を確認の上、工事打合せ簿により監督員と協議を行うものとする。

- 本工事は、遠隔臨場の導入をしない工事である。

(参照) 工事現場等における遠隔臨場に関する試行要領について

<https://www.pref.nagano.lg.jp/nochi/enkakurinjo.html>

4.2 建設キャリアアップシステム活用試行工事

本工事は、「長野県農政部建設キャリアアップシステム活用工事試行要領」に基づく、建設キャリアアップシステム活用試行工事である。活用を希望する場合は、工事打合せ簿により発注者と協議するものとする。

(参照)長野県農政部建設キャリアアップシステム活用工事試行要領

<https://www.pref.nagano.lg.jp/nochi/kensetsukyuuuppusisystem.html>

第3章 施工条件

1 工期関係

(1) 工期

工期は、入札公告に記載のとおり。
なお、工期には、施工に必要な休日数（実働日数）以外に、準備期間、休日数（土曜日、日曜日、祝日、年末年始休暇及び夏期休暇）、降雨・降雪等による作業不能日数及び後片付期間を見込んでいる。

(2) 工程制限
 有り
 無し

2 部分引渡し

有り
 無し

3 作業時間制限・超過勤務・夜間工事条件

有り
 無し

第4章 現場条件

1 土質

土質は、共通仕様書第1編第3章第3節3-3-1一般事項に示す礫質土を想定している。
想定と異なる土質が出現した場合は、監督員に報告し、土質試験等を含めその対策について監督員と協議を行うこと。

2 関連工事

有り
 無し

3 第三者に対する措置

施工に際しては、振動、騒音、安全対策に十分留意しなければならない。特に、生コンクリートや資材の搬出入に際しては、一般通行に支障を及ぼさないようにするとともに、安全管理に十分留意すること。
 事業損失防止対策調査等有り
 事業損失防止対策調査等無し

4 関係機関との調整

受注者が工事着手前に行う地権者、関係官公署等との協議及び調整は、事前に監督員の指示を

受けるものとする。

なお、発注者が実施している協議等の状況は、次のとおりである。

■ 有り

□ 無し

区分	内容	許可等年月日	許可条件・特記事項等
道路法	道路自営工事承認申請 道路占用協議		小布施町と協議中
河川法	土地の占用、工作物の新設等、河川保全区域内制限行為		
砂防法	砂防指定地内行行為許可申請		
森林法	保安林の解除 伐採許可、作業許可		
地すべり等防止法	制限行為協議		
文化財保護法	埋蔵文化財発掘の通知 試掘 本調査		
○○	J R 協議 ○○		

5 工事支障物件

支障物件がある場合には、細心の注意を払って施工すること。また、施工に当たっては、監督員の指示に従うとともに、市町村及び関係事業者との協議を行ってから実施すること。

■ 有り

□ 無し

項目	内容	摘要
電柱		
水道		
架空線		
烟かん水路	既設烟かん施設（管路、弁）あり	

工事の施工上必要となる架空電線の防護措置については、設計変更の対象とします。
(参照) 工事に伴う架空電線の防護措置に係る対応について (通知)

https://www.pref.nagano.lg.jp/gijukan/kensei/nyusatsu/sekisanki_jun/document/s/tuutibun_kakuusen.pdf

6 建設副産物の処理

■ 有り

□ 無し

(1) 建設発生土

搬出先	処分方法	特記事項

(2) 特定建設資材 (建設リサイクル法関係)

種別	処理場名	備考
アスファルトコンクリート塊	無筋	
コンクリート塊	鉄筋	
	二次製品	
建設発生木材		

※処理場名は積算上の条件であり、処理場を指定するものではない。

(3) 産業廃棄物（建設廃棄物処理指針（環境省）関係）

種別	処理場名	備考
石綿コンクリート管	直富商事(株)	

※処理場名は積算上の条件であり、処理場を指定するものではない。

種別	処分条件	備考
----	------	----

7 土壤汚染対策法の届出

- 有り 届出日： 年 月 日

※行為着手は、届出日から 30 日経過後とする。

■ 無し

適用条項

- 土地の形質の変更規模が 3,000m²未満（第4条、規則第22条）
- 土地の形質の変更規模が 3,000m²以上であるが、次の1～3のいずれかに該当（第4条、規則第25条）
 - 1 土地の形質の変更が盛土のみ
 - 2 軽易な行為（次のI～IIIのいずれにも該当しない）
 - I. 土壌の区域外への搬出
 - II. 土壌の飛散又は流失を伴う土地の形質の変更
 - III. 土地の形質の変更に係る部分の深さが 50cm 以上
 - 3 非常災害のために必要な応急措置として行う行為

第5章 仮設

1 指定仮設

- 有り
■ 無し

項目	内容	図面・参考図の有無	摘要
工事用道路		有・無	
土取、土捨場及び一時仮置き場		有・無	
仮用(排)水施設		有・無	
仮設橋梁		有・無	
仮廻し道路		有・無	
ウェルポイント工		有・無	
土留工		有・無	
河川仮締切工		有・無	
安全管理員	交通誘導警備員の配置		第10章2(1)ア記載のとおり

※指定仮設として計上する場合は、土留め、締切り、築島等で特に大規模であり、重要なものについて扱い、設計数量、設計図面、施工方法、配置などが発注者から指定されている場合である。

2 任意仮設

- 有り (標準契約款第1条第3項に該当する事項)
■ 無し

第6章 用地関係

1 工事用地等未処理部分

- 有り

■ 無し

2 発注者が確保している用地

□ 有り

■ 無し

3 上記以外の用地

上記以外で必要な用地の借用及びこれに伴う諸手続は、受注者側で対応するものとする。特に農地の一時転用については、事前に地域振興局農業農村支援センター、市町村、農業委員会等と調整するとともに、許可書の写しを監督員に提出すること。

第7章 工事用材料

1 規格及び品質

本工事で使用する主要材料の規格及び品質は、次に示すとおりであり、監督員が指示する材料について、試験成績書等を提出し、承認を得なければならない。

名称	規格	試験成績書等提出の有無
碎石類	RC-40	有
硬質ポリ塩化ビニル管	VP ϕ 50、150 mm、VH ϕ 75 mm	有
Bluetooth 無線式 自動かん水タイマー	使用圧力：0.07Mpa~1Mpa 季節調整機能付き、単三乾電池使用 50A、40A	有
樹脂製ボールバルブ	50A	有
コンクリート二次製品類	分水口 D, HP ϕ 500 mm	有
仕切弁	ϕ 50 mm 10K 青銅製	有

2 確認又は試験

主要材料に係る監督員の行う確認又は試験は、次のとおりである。

項目	内容	摘要

※受注者及び監督員が行うコンクリート二次製品受入れに伴う検査等については、長野県農政部制定「コンクリート二次製品検査技術基準」によるものとする。

3 県産木材

工事に使用する木材は、原則として県産木材を使用することとする。施工計画書提出時に、県産木材の素材供給段階における長野県産土木用材産地証明書発行基準に基づく産地証明書により監督員の確認を受けること。また、しゅん工書類に産地証明書を添付すること。

(参照) 長野県工事関係書類（図書、帳票、様式）ダウンロード一覧

https://www.pref.nagano.lg.jp/gijukan/2014120lkansoka/2014120lkansoka_yousiki.html

供給困難等の理由により、県産木材を使用できない場合は、別途協議とする。

4 県内産資材

県内企業の振興や地域経済の活性化を図る観点から、工事材料の選定に当たっては、県内産資材で規格・品質等を満たす材料を優先使用する取組を推進するものとする。

- (1) 県内産資材を優先使用に努めること。
- (2) 工事用資材の調達を極力県内取扱い業者から購入すること。
- (3) 県外産資材を使用する場合は、「県外産資材使用報告書」を監督員に提出すること。
報告が必要な資材は、「生コン」、「碎石」、「加熱アスファルト合材」、「コンクリート二次製品」に限定する。
(参照) 長野県工事関係書類（図書、帳票、様式）ダウンロード一覧
https://www.pref.nagano.lg.jp/gijukan/2014120lkansoka/2014120lkansoka_yousiki.html

第8章 環境との調和への配慮

1 環境配慮事項

- (1) 工事の実施に当たっては、長野県公共事業等環境配慮推進要綱別表第4、第5に掲げる環境配慮指針に基づき、環境との調和に配慮すること。

(参照) 長野県公共事業等環境配慮制度

<https://www.pref.nagano.lg.jp/kankyo/kurashi/kankyo/ekyohycka/hairyo/index.html>

- (2) 特に配慮すべき内容は次表のとおりとし、この中で、実施困難若しくは変更が必要な場合、又はこれ以外で工事に反映可能な項目がある場合は、監督員と協議すること。

- 有り
 無し

2 環境に配慮した材料の利用促進

工事には、木材、自然石、現存する植生等環境に配慮した材料の利用を促進する。このうち木材については県産材を優先使用し、丸太材及び太鼓材については原則として間伐材を使用する。なお、しゅん工検査時に県産材の証明書で確認することとする。

3 信州リサイクル製品の利用促進

工事材料として、認定リサイクル資材を積極的に利用すること。

(参照) 信州リサイクル製品認定制度

<http://www.pref.nagano.lg.jp/haikibut/kurashi/recycling/shigen/ninte/index.html>

なお、利用に当たっては、事前に監督員と協議すること。

第9章 土木コンクリート品質確保のための「テストハンマーによる強度推定調査及びひび割れ調査」

「コンクリート品質管理・土木コンクリート構造物品質確保特別仕様書」以外に調査を必要とする構造物は、次のとおりである。

なお、調査費用については、共通仮設費（技術管理費）に率計上している。

- 有り
 無し

(参照) コンクリート品質管理・土木コンクリート構造物品質確保特別仕様書

<https://www.pref.nagano.lg.jp/nochi/conhinhshitu.html>

第10章 施工

1 一般事項

水準点は、図面に示すBMを使用すること。

2 安全対策

(1) 交通管理

ア 交通誘導警備員

本工事における交通誘導警備員は次のとおり。

- 有り
 無し

・近接工事等で交通量が著しく増減した場合、道路管理者・警察署等からの要請、現場条件に著しい変更が生じた場合及び当初設計で予定している施工方法に対して違う方法となつた場合を除き、原則として設計変更の対象としない。

- ・受注者が交通誘導業務を他人に委託する場合は、受注者は、警備業法第4条の規定により公安委員会から警備業の認定を受けた者であること。
・指定路線においては、長野県公安委員会告示第70号（令和2年10月1日）により交通誘導警備業務を行う場所ごとに、一人以上の1級検定合格警備員又は2級検定合格警備員を配置し実施すること。

- イ 交通安全施設

- ・仮設ヤード周りは、パネルフェンス等を単管等で固定し、公衆の安全対策を講じること。
- ・車道部分に接し、車両等が飛び込みのおそれがある場合は、ガードレール、視線誘導板、回転灯等を設置するとともに、特に夜間の安全対策に配慮すること。

ウ 交通規制

- ・規制箇所は、袋小路にならないよう計画し、規制期間を極力短くすること。また、行事等の時期を把握して、地元の希望に沿う規制方法とする。

(2) 安全施設

現場出入口の管理

- （3）掘削法面
「斜面崩壊による労働災害防止対策に関するガイドライン」等により、必要な対策を講じること。

(4) 土石流対策・急傾斜地崩壊対策・地すべり対策・雪崩対策等

ア 一般事項

- ・現場状況、工事内容を踏まえた安全対策を検討し、施工計画書で避難訓練、避難場所・経路等を含めた警戒避難体制及び安全対策を協議、実施すること。
- ・斜面崩壊、有毒ガス・酸素欠乏等の対策として、次表の設備（各種センサー類及び換気設備等）を安全費に計上している。なお、現地に即したための仕様変更やそのままで設置が必要となる設備の費用は、協議の上、設計変更の対象とする。

各種センサー類及び換気設備等	設置場所	設置期間	備考

イ 土石流対策

- 主石流危険河川内工事については、平成10年3月23日付け基発第120号「主石流による労働災害防止のためのガイドライン」に基づき、工事内容を踏まえた安全対策等を検討し、施工計画書等を検討し、施工計画書に記入すること。安全対策に別途必要となる費用は、設計変更の対象とする。

ウ 降積雪期の建設工事における安全確保

- 工事期間が冬期間の施工である現場においては、降積雪期であるため、雪崩、土石流の発生が予想される。そのため、次の事項に留意する等、工事の安全対策を検討し、施工計画書に記入すること。

- ・雪崩、土石流等に対する安全対策の点検
- ・積雪深、融雪量、気温等の観測及び大雪、雪崩注意報等の気象情報の把握
- ・作業着手前、作業中の安全対策
- ・気象変化時におけるバトロールの実施、必要に応じた見張員の配置
- ・警戒避難雨量基準等に基づく工事中止の徹底

(5) 足場工

- 建設工事の足場については、原則として平成21年3月2日付け厚生労働省令第23号にて厚生労働省から公布された「労働安全衛生規則の一部を改正する省令」による、手すり先行工法を採用するのもとする。

（参考）手すり先行工法等に関するガイドライン

<http://www.jaish.gr.jp/horei/hor1-50/hor1-50-15-1-3.html>

（参照）関連通達等

- ・労働安全衛生規則の一部を改正する省令（令和5年厚生労働省令第22号）
- ・足場からの墜落・転落災害防止総合対策推進要綱（平成27年5月20日付け基安発0520第1号）
- ・足場の設置が困難な屋根上作業等における墜落防止のための作業標準マニュアル（平成26年3月10日付け基安安発0310第1号）

(6) 架空線等上空施設一般

- （ア）工事現場における架空線等上空施設について、施工に先立ち、現地調査を実施し、種類、位置（場所、高さ等）及び管理者を確認すること。

イ 建設機械のブーム等により接触・切断の可能性があると考えられる場合は、必要に応じて次の保安措置を行うこと。また、実施内容について、施工計画書に記入すること。

- (ア) 架空線等上空施設への防護カバーの設置
- (イ) 工事現場の出入り口等における高さ制限措置の設置
- (ウ) 架空線等上空施設の位置を明示する看板等の設置
- (エ) 建設機械のブーム等の旋回・立入禁止区域等の設定

ウ イの(ア)の設置を架空線等管理者に依頼し、事業区域外等において費用が生じる場合は、あらかじめ監督員に現場状況等の確認を請求すること。確認の結果、必要と認められる場合は、設計変更の対象とする。

3 施工段階における監督員の確認

共通仕様書以外の段階確認は、次に掲げる工種及び施工段階において実施するものとする。

工種	確認内容	確認時期・頻度	備考
掘削	床堀高、土質状況	掘削後	
各工種	出来形段階確認	各施工段階毎	
漏水試験	漏水の有無		試験方法・箇所は監督員と協議

4 その他

- (1) 管路施設の施工に先立ち、監督員の指示する資料に基づき、布設管種の確認を行うこと。
- (2) 施工前に、小布施土地改良区の配管図面により施設の位置及び管径等を確認すること。なお、試掘が必要な場合は監督員と協議すること。発生する石綿セメント管の処理については、関係法令に準じて適切に処理すること。

第 11 章 建設業法等における技術者制度

技術者等の配置に変更が生じる場合は、建設業法における技術者制度及び長野県建設部施行「建設工事の技術者の専任に係る取扱いについて」によること。

(参照) 建設工事等の現場代理人の兼任について

<https://www.pref.nagano.lg.jp/gijukan/kensei/nyusatsu/kokyokoji/bukyoku/dairin-in-kennmu.html>

第 12 章 ワンデーレスpons

「ワンデーレスpons」とは、受注者からの質問、協議への回答は、基本的に「その日のうち」に回答するなど、工事現場において発生する諸問題に対し、迅速な対応を実現することである。

受注者は、発注者のワンデーレスponsの取組に対し、情報共有化のための協議書類の電子化や施工協議経緯表の共有化、施工状況報告を電子媒体で行うなど実施可能な範囲で発注者に協力しなければならない。

なお、監督員が即日回答できない場合は、回答が必要な期限を発注者と受注者とで協議の上、回答期限を設けるなど「現場を待たせない」を念頭に工事に従事しなければならない。

第 13 章 契約書第 18 条(条件変更等)の補足説明

施工に当たり、自然的若しくは人為的な施工条件が設計図書等と異なる場合、又は、設計図書等に明示されていない場合の施工条件の変更に該当する主な事項は、次のとおりである。

- 土質
- 転石の出現
- 地下埋設物（埋蔵文化財を含む）の出現
- 残土捨て場位置
- 工事数量

第 14 章 下請負人契約

1 施工体制に関する事項

受注者は、適切な施工体制を確保し、下請負人を含む工事全体を把握して運営を行うこと。

特に社会保険への加入については、建設業の人材確保において重要な事項であることを踏まえ、自社はもとより、すべての下請について加入状況の確認を行うこと。

2 施工体制に係る工事書類等

- (1) 「施工体系図」
- (2) 「施工体制台帳」（「再下請通知書」は、下請契約の請負代金の総額にかかわらず作成するが、監督員等の求めに応じて提示するものとする。）
(3) 下請契約書、再下請け契約書の「写」（下請契約の請負代金の総額にかかわらず作成）

3 下請契約（施工体制台帳に記載を求める契約をいう）における県内企業の採用
県内企業の振興や地域経済の活性化を図る観点から、受注者は、下請契約を締結する場合には、当該契約先として県内企業を優先的に採用するよう努めるものとする。なお、県内企業とは、県内に本社・本店（みなし本店を含む。）を置く建設企業者をいう。

- 4 施工体制台帳作成などの取扱い**
工事書類における施工体制台帳作成などの取扱いは、「建設工事における施工体制台帳作成などの取扱いについて（通知）」による。
(参照) 長野県電子入札システムスタートページ
<https://www.pref.nagano.lg.jp/gijukan/kensei/hyusatsu/kokyokaji/denshi/hyusatsu/>

- ## 第 15 章 創意工夫・社会性等に関する実施状況の提出
- 受注者は、工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、工事完了時までに所定の様式により提出することができる。
(参照) 長野県工事関係書類（図書、帳票、様式）ダウソード一覧
https://www.pref.nagano.lg.jp/gijukan/20141201kansoka/20141201kansoka_yousiki.html

第 16 章 現場環境改善費

- 有り
- 無し

- (1) 現場環境改善費の内容は、次のとおりとし、原則として計上項目のそれぞれから 1 内容以上選択し、合計 5 つの内容を実施することとする。ただし、地域の状況・工事内容により組み合わせ、実施項目数及び実施内容を変更してもよい。詳細については、監督員と協議する。
- (2) 次に示す内容において、受注者は、具体的な実施内容、実施期間を施工計画書に含めて監督員に提出するものとする。
- (3) 受注者は、工事完成時に、現場環境改善費の実施状況がわかる写真を監督員に提出するものとする。

計上項目	実施する内容（率計上分）
仮設備関係	<ul style="list-style-type: none">①用水・電力等の供給設備②緑化・花壇③ライトアップ施設④見学路及び椅子の設置⑤昇降設備の充実⑥環境負荷の低減
Ass 営繕関係	<ul style="list-style-type: none">①現場事務所の快適化（女性用更衣室、快適トイレの設置を含む）②労働者宿舎の快適化③デザインボックス（交通誘導警備員待機室）④現場休憩所の快適化⑤健康関連設備及び厚生施設の充実等
安全関係	<ul style="list-style-type: none">①工事標識・照明等安全施設のイメージアップ（電光式標識等）②盗難防止対策（警報器等）③避暑（熱中症予防）・防寒対策
地域連携	<ul style="list-style-type: none">①地域対策費（農家との調整、地域行事等の経費を含む）

(2)完成予想図
(3)工法説明図
(4)工事工程表
(5)デザイン工事看板（各工事PR看板含む）
(6)見学会等の開催（イベント等の実施含む）
(7)見学所（インフォメーションセンター）の設置及び管理運営
(8)パンフレット・工法説明ビデオ
(9)社会貢献

(参照) 工事における現場環境改善費の積算要領

<https://www.pref.nagano.lg.jp/nochi/r4genbakankyoukaizenhi.html>

第17章 国土地盤情報データベース検定費

有り

無し

- (1) 受注者は、一般財団法人国土地盤情報センターの検定を受けた上で、「国土地盤情報データベース」に登録すること。
- (2) 受注者は、一般財団法人国土地盤情報センターから受領した検定証明書（PDF）を電子納品のBORING/OTHERSへ格納することをもって、提出する成果が検定済であることを報告すること。
- (3) 受注者は、地盤情報の公開の可否について事前協議すること。
(参考) 長野県農政部地盤情報（ボーリング柱状図等）取扱要領（令和6年11月1日適用）
<https://www.pref.nagano.lg.jp/nochi/kensetsukouji-itaku.html>

第18章 数量算出方法

共通仕様書に記載のない数量算出方法については、次のとおりである。

有り

無し

第19章 履行報告（週間工程表）

受注者は、履行報告書（週間工程表）を提出するものとする。

第20章 予想出来形数量の提出

受注者は、遅くとも工期の1ヶ月までに予想出来形数量を取りまとめて監督員に提出すること。
なお、数量算出方法については、第18章によるものとする。

第21章 100%出来形図

受注者は、次に記載のある図面については、省略してもよいものとする。

有り

無し

第22章 再生資源利用計画書等

提出様式は、原則としてCOBRISを利用して作成すること。これにより難い場合は、監督員との協議により、「建設リサイクル報告様式（EXCEL）」によることも可能とする。
作成が必要な工事は、次表のとおりとする。

再生資源利用計画（実施）書	再生資源利用促進計画（実施）書
次のいずれか1つでも満たす建設資材を搬入する工事	次のいずれか1つでも満たす指定副産物を搬出する工事
1 土砂・・・・・・・・ 500m ³ 以上	1 土砂・・・・・・・・ 500m ³ 以上
2 碎石・・・・・・・・ 500t以上	2 コンクリート塊
3 加熱アスファルト混合物・・ 200t以上	アスファルト・コンクリート塊
	】・・・ 合計 200t 以上
	建設発生木材

(参照) COBRIS

なお、発注者から貸与されるリサイクル計画書は、次のとおりである。

- 有り (別紙「リサイクル計画書（積算段階）」のとおり)
 無し

第23章 指導事項

この工事における指導事項は、次のとおりである。

- (4) セメント等を地盤改良材に使用する場合の措置
セメント及びセメント系固化材を使用する際には、六価クロム溶出試験及びタンクリーチング試験を行い、自然環境等に悪影響を及ぼすことのないように適正に処理を行うこと。
なお、試験方法、「セメント及びセメント系固化材を使用した改良土等の六価クロム溶出試験要領」によるものとする。

(2) 不正軽油撲滅対策

軽油を燃料とする車両及び建設機械には、ガソリンスタンド等で販売されている適正な軽油を使用すること。

県庁税務課及び各県税事務所が行う燃料の抜取調査等に協力すること。

第24章 法定外の労災保険の付保

本工事において、受注者は、法定外の労働災害保険に付きなければならない。
法定外の労災保険への付保状況について、受注者は、保険契約の証券又はこれに代わるものにより監督員の確認を受けなければならない。

第25章 積算条件

1 価格積算基準

本工事で適用している価格積算基準は、次のとおりである。

- (1) 農林水産省 土地改良工事積算基準 令和6年度による。
(参考) 長野県の農業農村整備事業における基準

<https://www.pref.nagano.lg.jp/nochi/kensetsukouji-itaku.html>

(参考) 施工パッケージ型積算方式について

https://www.maff.go.jp/j/nousin/seko/unit_price/

- (2) 上記以外の積算基準は、長野県建設部（国土交通省）の施工パッケージ型積算方式標準単価表を準用している。

2 適用歩掛

本工事で適用している歩掛等は、次のとおりである。

農林水産省 土地改良工事積算基準 令和6年度

なお、上記以外の歩掛は、長野県建設部及び林務部の歩掛を準用している。

(注) 建設部の歩掛を使用している際には、次の点に留意すること。

建設部の歩掛を農政部で使用する際には、「数量算出要領の1－5歩掛単価表等の単位及び数位」により、数位を修正して使用している。

(例) 建設部歩掛 普通作業員 0.506人 → 農政部歩掛 普通作業員 0.51人

3 特殊積算条件の有無

- 有り
 無し

4 資材単価等

- (1) 本工事に係る工事費の積算に当たっては、長野県が適宜調査している部局別単価や、積算資料（一般財団法人経済調査会）及び建設物価（一般財団法人建設物価調査会）などに設定され

ている刊行物単価などにより予定価格を算出している。

なお、長野県が設定している単価等は、長野県ホームページ等において閲覧できる。

(2) 刊行物単価の決定方法については、長野県公式ホームページ掲載の「『物価資料掲載単価』決定方法」による。

(参考) 「長野県建設工事等設計単価」・「工事等に適用する積算基準」の公表について
<https://www.pref.nagano.lg.jp/gijukan/kensei/nyusatsu/sekisanki/jun/sekketanka.html>

(3) 見積りによる単価等の有無は、次のとおりである。

- 有り (別紙「見積り単価一覧表」のとおり)
- 無し

第 26 章 情報共有システム

本工事における情報共有システムの適用については、「情報共有システム実施要領」等による。
(参照) 長野県におけるCALS/EC の取組

<https://www.pref.nagano.lg.jp/gijukan/kensei/nyusatsu/cals/torikumi/index.html>

第 27 章 電子納品

本工事における電子納品の適用については、「電子納品に係る実施要領」等による。
(参照) 長野県におけるCALS/EC の取組

<https://www.pref.nagano.lg.jp/gijukan/kensei/nyusatsu/eals/terikumi/index.html>

第 28 章 「工事施工三者協議」の開催

該当

■ 非該当

本工事は、請負者、設計者（コンサルタント等）及び発注者が各種情報を共有し、設計意図の伝達を行うための「工事施工三者協議」の対象工事である。
請負者は、工事着手前に設計図書の照査等を実施するとともに、その結果を発注者に報告し、「工事施工三者協議」に参加すること。

第 29 章 工事書類

工事書類作成は、原則として「工事書類簡素化ガイドライン」による。
(参照) 工事書類簡素化ガイドライン

<https://www.pref.nagano.lg.jp/nochi/kojisyoruikansoka.html>

第 30 章 「ワーケリースタンス」の取組

本工事は、「ワーケリースタンス実施要領」に基づきワーケリースタンスを実施する。
取組内容については、施工計画書に記入すること。
(参照) ウィーカリースタンス実施要領

<https://www.pref.nagano.lg.jp/nochi/week.html>

第 31 章 工期及び請負代金の額に影響を及ぼす事象に関する情報の通知

建設業法(昭和 24 年法律第 100 号) 第 20 条の 2 第 2 項の規定により、工期又は請負代金の額に影響を及ぼす事象が発生するおそれがあると認めるときは、落札決定から請負契約を締結するまでに、発注機関の長に対して、その旨を当該事象の状況の把握のため必要な情報と併せて通知すること。
(参照) 建設工事受注希望型様式集

https://www.pref.nagano.lg.jp/gijukan/kensei/nyusatsu/kokyokoji/juchu/kibogata/ko_ji.html

図書名	長野県農政部	発行元、監修元等 及び問合せ先
土木工事共通仕様書	令和6年10月	長野県農政部（農地整備課）
土木工事施工管理基準	令和6年10月	長野県農政部（農地整備課）
土地改良工事数量算出要領	令和6年10月	長野県農政部（農地整備課）
土木工事現場必携	令和6年10月	長野県建設部
設計変更ガイドライン	令和5年2月	長野県環境部、農政部、 林務部、建設部
工事一時中止に係るガイドライン	令和4年10月	長野県農政部（農地整備課）
土木工事施工管理基準の手引き	令和4年3月	農林水産省農村振興局
施設機械工事等共通仕様書	令和6年10月	長野県農政部（農地整備課）
施設機械工事等施工管理基準	令和4年10月	農林水産省農村振興局
ICT活用工事実施の手引き	令和6年10月	長野県農政部（農地整備課）

なお、発刊を行っていない図書等は、長野県公式ホームページからダウンロード可能。

- ・共通仕様書

<https://www.pref.nagano.lg.jp/nochi/kensei/hyusatsu/sekisankijun/kensetsu.html>

- ・施工管理基準

https://www.pref.nagano.lg.jp/nochi/dobokukanriki_jyun.html

- ・土木工事現場必携

<https://www.pref.nagano.lg.jp/giujukan/infra/kensetsu/giujutsu/genbahikkei.html>

- ・設計変更ガイドライン

<https://www.pref.nagano.lg.jp/giujukan/infra/kensetsu/giujutsu/sekkeihenko-guideeline.html>

- ・工事一時中止に係るガイドライン

<https://www.pref.nagano.lg.jp/nochi/koujiichiijcyushi.html>

第33章 しゅん工検査

本工事のしゅん工検査は、検査補助員を配する検査又は複数日検査となる場合がある。

第34章 定めなき事項

この仕様書に定めのない事項又はこの工事の施工に当たり疑義が生じた場合は、必要に応じて監督員と協議すること。

積算に使用している特殊単価一覧(見積り等単価)

No	名 称	規 格	単 位	決 定 価 格(円)	採用根拠
1	縞鋼板蓋 I	CHPL-4.5×Φ 11002分割	組	42,100	見積り
2	縞鋼板蓋 II	CHPL-4.5×1070 ×1070 2分割	組	39,400	見積り
3	縞鋼板蓋(排泥処理)	CHPL-4.5 × Φ 580	枚	51,100	見積り
4	Bluetooth無線式 自動かん水タイマー	50A	基	99,900	見積り
5	Bluetooth無線式 自動かん水タイマー	40A	基	91,700	見積り
6	プレハブジョイント	50A	個	7,660	見積り
7	プレハブジョイント	40A	個	5,560	見積り
8	樹脂製ニップル	50A	個	960	見積り
9	樹脂製ニップル	40A	個	690	見積り
10	組立費50A	自動灌水タイマー、プ レハブジョイント、樹 脂製ニップル	式	3,500	見積り
11	組立費40A	自動灌水タイマー、プ レハブジョイント、樹 脂製ニップル	式	3,000	見積り
12	樹脂製ボールバルブ	50A	個	14,030	見積り
13	VH管(プレーンエンド直管)	75×4000L	本	11,660	見積り
14	VAジョイント用ゴム輪	塙ビ管用 75mm	個	3,280	見積り

15	VAジョイント用ゴム輪	石綿管用 75mm	個	1,430	見積り
16	石綿管処理費		m3	40,000	見積り
17	石綿管收集運搬		車	40,000	見積り

総括情報表

頁0-0001

適用単価地区 実施設計単価表等の適用日	53 1 4 北信 (1) 07.07.31	
資材等の単価の出典	建設物価・積算資料	当年8月号
	当世代	前世代
前払率 (%)	40	
消費税率 (%)	10 %	
工種	08 煙かん施設工事	
契約保証方法	03 補正なし	
施工地域区分	05 一般交通影響有り(2)-2	
豪雪割増	00 豪雪割増無し	
現場環境改善費	00 率分計上無し	
	これらの諸経費等の条件については、原則変更協議の対象とはなりませんのでご理解願います。	

(工事費内訳書)

＊＊本工事費＊＊

頁0-0002

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
＊＊本工事費＊＊					
烟かん施設工					
土工					
作業土工					
		式			
掘削 土砂 小規模(標準) 小規模(標準)	126	m 3		00	施工 第0 -0017号表
積込 (ルーズ) 土砂 小規模(標準)	87	m 3		00	施工 第0 -0018号表
埋戻 まき出し 粘性土・礫質土 締固めあり コンパクタ (I)	97	m 3		00	施工 第0 -0019号表
残土付近処理 土砂 小規模(標準)	29	m 3		00	施工 第0 -0020号表
管体基礎工					

(工事費内訳書)

＊＊本工事費＊＊

頁0-0003

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
砂基礎工		式			
パイプライン基礎（砂・砂質土） 購入土（砂、砂質土） コンパクタ（締固区分 I）	2.4	m ³		00	施工 第0 -0021号表
洗砂（細骨材用） 荒目	3.1	m ³		00	
管体工					
塩ビ管布設工		式			
硬質ポリ塩化ビニル管人力布設 VP 直管（両差し口）4.0m 50mm管 人力	132	m		00	施工 第0 -0023号表
硬質ポリ塩化ビニル管 TS継手 エルボA形 径50	115	個		00	
弁類		式			
給水弁（電磁式）φ50mm設置	97	箇所			科目 第0001号表

(工事費内訳書)

＊＊本工事費＊＊

頁0-0004

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
給水弁（電磁式）φ40mm設置	1	箇所			科目 第0002号表
樹脂製ボールバルブ 50A	23	個			
樹脂製ニップル 50A	23	個			
給水弁保護工設置（耕地内）ポリエチレン管	58	箇所			科目 第0003号表
給水弁保護工設置（耕地内）分水口D	1	箇所			科目 第0004号表
構造物工					
排泥弁室工		式			
排泥工（耕地内）	4	箇所			科目 第0005号表
排泥処理工（耕地内）	4	箇所			科目 第0006号表

(工事費内訳書)

＊＊本工事費＊＊

頁0-0005

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
付帯工					
埋設物表示工					
		式			
管埋設シート設置 幅 400mm (シングル)	16.0	m		00	施工 第0-0024号表
埋設表示テープ 巾 30mm×20m巻	16.0	m		00	
構造物撤去工					
構造物取壊し工					
		式			
石綿管継手取外し工 φ75mm	4	口			科目 第0007号表
石綿管吊上げ積込 φ75mm 人力	12.0	m			科目 第0008号表
産業廃棄物処理工					

(工事費内訳書)

＊＊本工事費＊＊

頁0-0006

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
産業廃棄物運搬工					
		式			
産業廃棄物処分費					
石綿管収集運搬費					
	1	車			
産業廃棄物処理工					
		式			
産業廃棄物処分費					
石綿管処理費					
	0.9	m ³			
＊＊直接工事費＊＊					
安全費					
半面形防塵マスク 7121 R-03 フィルター付RD-6型	8	個			

(工事費内訳書)

＊＊本工事費＊＊

頁0-0007

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
化学防護服 タイベックソフトウェアIII型	8	着			
タイベック	8	足			
化学防護手袋 12双/袋 ニトリルラテックス	1	袋			
防護メガネ M10C-VF	8	個			
ビニルフィルム 0.1mm (t) × 185cm (w)	26.0	m			
＊＊共通仮設費率分＊＊					
＊＊共通仮設費計＊＊					
＊＊純工事費＊＊					
＊現場管理費＊					

(工事費内訳書)

* * 本工事費 * *

頁0-0008

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
工事原価					
一般管理費等					
(参考) 予定価格に占める法定福利費概算額					
工事価格計					
消費税等相当額計					
工事費計					

給水弁（電磁式） φ 50mm設置

科 目 内 訳 表

科目 第0001号表

頁0-0009

1 箇所
考

施 工 名 称 な ど	数 量	単 位	单 価	金 頓	備
Bluetooth無線式自動かん水タイマー 50A					
	1	基			
プレハブジョイント 50A					
	1	個			
樹脂製ニップル 50A					
	1	個			
ユニット組立					
	1	式			
硬質ポリ塩化ビニル管 TS継手 バルブソケット メタル入り φ 50mm				00	
	2	個			
硬質ポリ塩化ビニル管 TS継手 ソケット A形 径50				00	
	2	個			
硬質ポリ塩化ビニル管 TS継手 エルボA形 径50				00	
	4	個			
硬質ポリ塩化ビニル管 (V P) 布設 V P 直管(両差し口) 4.0m 50mm管 人力				00	
	1.6	m			施工 第0-0001号表
*** 単位当り ***	1	箇所			

給水弁（電磁式） φ 40mm設置

科 目 内 訳 表

科目 第0002号表

頁0-0010

1 箇所
箇所
考

施 工 名 称 な ど	数 量	単 位	单 価	金 頓	備
Bluetooth無線式自動かん水タイマー 40A					
	1	基			
プレハブジョイント 40A					
	1	個			
樹脂製ニップル 40A					
	1	個			
ユニット組立					
	1	式			
硬質ポリ塩化ビニル管 TS継手 バルブソケット メタル入り φ 40mm				00	
	2	個			
硬質ポリ塩化ビニル管 TS継手 ソケット A形 径40				00	
	2	個			
硬質ポリ塩化ビニル管 TS継手 エルボA形 径40				00	
	4	個			
硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) 布設 VP 直管(両差し口) 4.0m 40mm管 人力				00	
	1.6	m			施工 第0-0002号表
*** 単位当り ***	1	箇所			

給水弁保護工設置（耕地内）ポリエチレン管 科目内訳表

科目 第0003号表

頁0-0011

1 箇所
箇所
考

施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
高密度ポリエチレン管（内面波状） 直管 φ 1000	0.5	m		00	
普通作業員	0.03	人		00	
配管工	0.10	人		001	
普通作業員	0.10	人		001	
諸雑費	7.0	%			
縫钢板蓋（赤錆止め塗装）2分割 CHPL-4.5×φ1100	1	式			
排水構造物工 蓋版据付（手間のみ） 縫钢板蓋各種	2	枚		00	施工 第0 -0003号表
基礎碎石 17.5cmを超える20.0cm以下 再生クラッシャラン RC-40	1.69	m 2		00	施工 第0 -0004号表
*** 単位当り ***	1	箇所			

給水弁保護工設置（耕地内）分水口D

科 目 内 訳 表

科目 第0004号表

頁0-0012

1 箇所
考

施 工 名 称 な ど	数 量	单 位	单 価	金 領	備
フリューム用分水口工 D型 (100×100cm)				00	
	1	箇所			施工 第0 -0005号表
縞鋼板蓋（赤錆止め塗装）2分割 CHPL-4.5×1070×1070 2分割					
	1	式			
排水構造物工 蓋版据付（手間のみ） 縞鋼板蓋各種				00	
	2	枚			施工 第0 -0003号表
基礎碎石 17.5cmを超える20.0cm以下 再生クラッシャラン RC-40				00	
	1.85	m 2			施工 第0 -0004号表
*** 単位当り ***					
	1	箇所			

排泥工（耕地内）

科 目 内 訳 表

科目 第0005号表

頁0-0013

1 箇所
考

施 工 名 称 な ど	数 量	単 位	单 価	金 頓	備 考
小バルブ類取付 (人力) 青銅製 φ 50 A 仕切弁 10 K	1	個		00	施工 第0 -0007号表
硬質ポリ塩化ビニル管 TS継手 バルブソケット メタル入り φ 50 mm	1	個		00	
炭素鋼钢管布設 人力 白ネジ付 50 A	1.0	m		00	施工 第0 -0008号表
钢管切断 钢管切断 (単位:箇所) 50 A	1	箇所		00	施工 第0 -0009号表
钢管ねじ切り 钢管ねじ切り (単位:箇所) 50 A	2	箇所		00	施工 第0 -0010号表
钢管ねじ込み接合 钢管ねじ込み接合 (単位:口) 50 A	2	口		00	施工 第0 -0011号表
硬質ポリ塩化ビニル管 RR鑄鉄異形管 T字管(離脱防止内蔵) 75×50 mm	1	個		00	
VH管布設 塩ビ管 4.0 m 75 mm管 人力	3.0	m		00	施工 第0 -0012号表
VAジョイントゴム輪 塩ビ管用 φ75	1	個			

排泥工（耕地内）

科 目 内 訳 表

科目 第0005号表

頁0-0014

1 箇所
考

施 工 名 称 な ど	数 量	单 位	单 価	金 領	備
V A ジョイントゴム輪 石綿管用 ϕ 75	1	個			
硬質ポリ塩化ビニル管 (V P) 布設 V P 直管 (両差し口) 4. 0 m 1 5 0 mm管 人力	0.8	m			00 施工 第0 -0013号表
基礎碎石 17.5cmを超え20.0cm以下 再生クラッシャラン RC-40	0.09	m 2			00 施工 第0 -0004号表
硬質塩化ビニル管DV継手 (排水用) キャップ ϕ 150	1	個			00
*** 単位当り ***	1	箇所			

排泥処理工（耕地内）

科 目 内 訳 表

科目 第0006号表

頁0-0015

箇所
考

1

施 工 名 称 な ど	数 量	単 位	单 価	金 額	備
遠心力鉄筋コンクリート管 (B形) 据付 500mm	2.43	m		00	施工 第0 -0014号表
基礎碎石 27.5cmを超える30.0cm以下 再生クラッシャラン RC-40	0.64	m 2		00	施工 第0 -0015号表
硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) 布設 VP 直管 (両差し口) 4.0m 50mm管 人力	1.5	m		00	施工 第0 -0016号表
縫鋼板蓋 t = 4.5mm CHPL-4.5 × φ 580	1	枚			
排水構造物工 蓋版据付 (手間のみ) 縫鋼板蓋各種	1	枚		00	施工 第0 -0003号表
*** 単位当り ***	1	箇所			

石綿管継手取外し工 ϕ 75mm

科目内訳表

科目 第0007号表

頁0-0016

石綿管吊上げ積込 φ75mm 人力

科 目 内 訳 表

科目 第0008号表

頁0-0017

施工内訳表

施工 第0 -0001号表

頁0-0018

硬質ポリ塩化ビニル管 (V P) 布設

V P 直管 (両差し口) 4. 0 m

5 0 mm管

人力

10

m 当り

考

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
硬質ポリ塩化ビニル管 (一般管) V P 径5 0 長4. 0 m	2.44	本			
雑材料費	2.70	%			
土木一般世話役	0.14	人			
特殊作業員	0.18	人			
普通作業員	0.22	人			
*** 合 計 ***	10	m			
*** 単位当たり ***	1	m			
管種区分 : V P 直管 (両差し口) 4. 0 m 接合箇所数 (箇所／10 m) : 10			管径区分 : 5 0 mm管		

施工内訳表

施工 第0 -0002号表

頁0-0019

硬質ポリ塩化ビニル管 (V P) 布設

V P 直管 (両差し口) 4. 0 m

4 0 mm管

人力

10

m

当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
硬質ポリ塩化ビニル管 (一般管) V P 径4 0 長4. 0 m	2.44	本			
雑材料費	2.70	%			
土木一般世話役	0.14	人			
特殊作業員	0.18	人			
普通作業員	0.22	人			
*** 合 計 ***	10	m			
*** 単位当り ***	1	m			
管種区分 : V P 直管 (両差し口) 4. 0 m 接合箇所数 (箇所／1 0 m) : 10			管径区分 : 4 0 mm管		

排水構造物工 蓋版据付（手間のみ） 縫鋼板蓋各種

施工内訳表

施工 第0 -0003号表

頁0-0020

100 枚 当り 考

施工内訳表

施工 第0 -0004号表

頁0-0021

基礎砕石

17.5cmを超える20.0cm以下

機械構成比： 4.99%

再生クラッシャラン RC-40

労務構成比： 69.17%

材料構成比： 25.84%

施工 第0 -0004号表

1 m 2 当り

標準単価：

代表機材規格	構成比	単位	単価	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ〔クローラ型〕賃料 ～排ガス2014.山積0.8m ³ （長期割引）	4.96%	日		バックホウ〔クローラ型〕賃料		
普通作業員	33.14%	人		普通作業員		
特殊作業員	14.04%	人		特殊作業員		
特殊運転手	13.23%	人		運転手（特殊）		
土木一般世話役	8.28%	人		土木一般世話役		
再生クラッシャーラン40mm以下	21.33%	m ³		再生クラッシャーラン RC-40		

施工内訳表

頁0-0022

基礎碎石

17.5cmを超える20.0cm以下

機械構成比： 4.99%

労務構成比：

再生クラッシャラン RC-40

69.17%

材料構成比： 25.84%

施工 第0 -0004号表

1 m 2 当り
標準単価：

代表機材規格	構成比	単位	単価	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
軽油	4.48%	L		軽油 パトロール給油		
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当たり ***						
碎石の厚さ：17.5cmを超える20.0cm以下 費用の内訳：全ての費用				碎石の種類：再生クラッシャラン RC-40		

施工内訳表

頁0-0023

施工 第0 -0005号表

100 箇所 当り
考

フリューム用分水口工 D型 (100×100cm)

施工内訳表

施工 第0 -0006号表

頁0-0024

コンクリート分水槽

据付

800kgを超える1200kg以下

機械構成比 :

8.43%

労務構成比 :

89.79%

材料構成比 :

1.78%

市場単価構成比 :

0.00%

1
標準単価:

基 当り

代表機材規格	構成比	単位	単価	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ〔クローラ型・クレーン付〕賃料 ～排ガス3次・山積0.28m ³	7.96%	日		バックホウ〔クローラ型・クレーン付〕賃料		
普通作業員	35.04%	人		普通作業員		
特殊運転手	28.98%	人		運転手(特殊)		
土木一般世話役	15.11%	人		土木一般世話役		
特殊作業員	5.58%	人		特殊作業員		
軽油	1.68%	L		軽油 パトロール給油		

施工内訳表

頁0-0025

コンクリート分水槽

据付 800kgを超え1200kg以下

機械構成比 : 8.43% 労務構成比 : 89.79% 材料構成比 : 1.78% 市場単価構成比 : 0.00%

代表機労材規格構成比単位単価代表機労材規格(東京地区)単価(東京地区)備考

代表機 労材 規格	構成比	単位	単価	代表機 労材 規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						
作業区分：据付 基礎碎石の有無：基礎碎石なし				製品質量(kg/基)：800kgを超える1200kg以下		

小バルブ類取付 (人力)

青銅製 ϕ 50 A

施工内訳表

施工 第0 -0007号表

頁0-0026

炭素鋼钢管布設 人力
白ネジ付 50A

施工內訛表

施工 第0 -0008号表

頁0-0027

10 m 当り
考

施工内訳表

頁0-0028

施工 第0 -0009号表

1 箇所 当り 考

鋼管切斷

钢管切断 (单位: 箍所)

5 0 A

钢管ねじ切り

钢管ねじ切り (単位:箇所)

施工内訳表

施工 第0 -0010号表

頁0-0029

1 簡所考 当り

施工内訳表

頁0-0030

施工 第0 -0011号表

2 口 当り
老

钢管ねじ込み接合

钢管ねじ込み接合 (単位: 口)

50A

施工内訳表

施工 第0 -0012号表

頁0-0031

VH管布設

塩ビ管 4. 0 m

75mm管

人力

10 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
塩ビ管材料費	2.44	本			
雑材料費	2.10	%			
土木一般世話役	0.09	人			
特殊作業員	0.13	人			
普通作業員	0.19	人			
*** 合計 ***	10	m			
*** 単位当たり ***	1	m			
管種区分：その他塩ビ管 4. 0 m 管単価（円／本）：			管径区分： 75mm管 接合箇所数（箇所／10m）：4		

施工内訳表

施工 第0 -0013号表

頁0-0032

硬質ポリ塩化ビニル管 (V P) 布設

V P 直管 (両差し口) 4. 0 m

150mm管

人力

10

m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
硬質ポリ塩化ビニル管 (一般管) V P 径150 長4.0 m	2.44	本			
雑材料費	2.20	%			
土木一般世話役	0.11	人			
特殊作業員	0.15	人			
普通作業員	0.23	人			
*** 合計 ***	10	m			
*** 単位当たり ***	1	m			
管種区分 : V P 直管 (両差し口) 4. 0 m 接合箇所数 (箇所／10 m) : 5			管径区分 : 150mm管		

施工内訳表

施工 第0 -0014号表

遠心力鉄筋コンクリート管 (B形)

据付

500mm

機械構成比 :

3.01%

労務構成比 :

32.70%

材料構成比 :

64.29%

市場単価構成比 :

0.00%

標準単価 :

1 m 当り

代表機材規格	構成比	単位	単価	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ [クローラ・後方超小旋回] 貨料 クレーン付 超低 排ガス2014.:山積0.45m ³	2.67%	日		バックホウ [クローラ・後方超小旋回] 貨料 クレーン付き		
普通作業員	14.06%	人		普通作業員		
特殊運転手	7.40%	人		運転手 (特殊)		
土木一般世話役	4.63%	人		土木一般世話役		
特殊作業員	2.85%	人		特殊作業員		
ヒューム管 B型 外圧1種 φ500 L=2.43m	62.35%	本		ヒューム管 (外圧管1種) B形 500×42×2430		

施工内訳表

施工 第0 -0014号表

遠心力鉄筋コンクリート管（B形）

据付

500mm

機械構成比：

3.01%

労務構成比：

32.70%

材料構成比：

64.29%

市場単価構成比：

0.00%

標準単価：
1
m 当り

代表機材規格	構成比	単位	単価	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
軽油	1.72%	L		軽油 パトロール給油		
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						
作業区分：据付 固定基礎：固定基礎なし 費用の内訳：全ての費用				管径：500mm 規格：外圧管1種		

施工内訳表

頁0-0035

基礎砕石

27.5cmを超える30.0cm以下

機械構成比： 4.94%

再生クラッシャラン RC-40

労務構成比： 68.45%

材料構成比： 26.61%

施工 第0 -0015号表

1 m 2 当り

標準単価：

代表機材規格	構成比	単位	単価	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ〔クローラ型〕賃料 ～排ガス2014.山積0.8m ³ （長期割引）	4.91%	日		バックホウ〔クローラ型〕賃料		
普通作業員	32.81%	人		普通作業員		
特殊作業員	13.88%	人		特殊作業員		
特殊運転手	13.10%	人		運転手（特殊）		
土木一般世話役	8.19%	人		土木一般世話役		
再生クラッシャーラン40mm以下	22.15%	m ³		再生クラッシャーラン RC-40		

施工内訳表

頁0-0036

施工 第0 -0015号表

基礎碎石

27.5cmを超え30.0cm以下

機械構成比： 4.94%

再生クラッシャラン RC-40
労務構成比 : 68.45% 材料構成比 : 26.61%

市場単価構成比 : 0.00%

0.00%

標準単価 : 1 m 2 当り

代表機労材規格	構成比	単位	単価	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
軽油	4.43%	L		軽油 パトロール給油		
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						
碎石の厚さ：27.5cmを超える30.0cm以下 費用の内訳：全ての費用				碎石の種類：再生クラッシャラン RC-40		

施工内訳表

施工 第0 -0016号表

頁0-0037

硬質ポリ塩化ビニル管 (V P) 布設

V P 直管 (両差し口) 4. 0 m

5 0 mm管

人力

10

m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
硬質ポリ塩化ビニル管 (一般管) V P 径5 0 長4. 0 m	2.44	本			
雑材料費	2.00	%			
土木一般世話役	0.07	人			
特殊作業員	0.11	人			
普通作業員	0.15	人			
*** 合 計 ***	10	m			
*** 単位当たり ***	1	m			
管種区分 : V P 直管 (両差し口) 4. 0 m 接合箇所数 (箇所／1 m) : 2			管径区分 : 5 0 mm管		

施工内訳表

施工 第0 -0017号表

頁0-0038

掘削

土砂 小規模(標準)

機械構成比 : 27.26%

小規模(標準)

労務構成比 : 61.70%

材料構成比 : 11.04%

市場単価構成比 : 0.00%

1 m 3 当り
標準単価 :

代表機材規格	構成比	単位	単価	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) [標準型] 排ガス2次∴山積0.28m ³	27.26%	供用日		バックホウ(クローラ型) [標準型] 排ガス2次		
特殊運転手	61.70%	人		運転手(特殊)		
軽油	11.04%	L		軽油 パトロール給油		
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						
土質:土砂 施工数量:小規模(標準)				施工方法:上記以外(小規模) 豪雪割増:豪雪割増 工種条件と同じ		

施工内訳表

施工 第0 -0018号表

頁0-0039

積込 (ルーズ)

土砂

機械構成比 :

27.26%

労務構成比 :

小規模(標準)

61.70%

材料構成比 :

11.04%

市場単価構成比 :

0.00%

1

m 3

当り

標準単価 :

代表機材規格	構成比	単位	単価	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ (クローラ型) [標準型] 排ガス2次∴山積0.28m ³	27.26%	供用日		バックホウ (クローラ型) [標準型] 排ガス2次		
特殊運転手	61.70%	人		運転手 (特殊)		
軽油	11.04%	L		軽油 パトロール給油		
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						
土質:土砂 豪雪割増:豪雪割増 工種条件と同じ				作業内容: 小規模(標準)		

埋戻 まき出し
粘性土・礫質土

施工内訳表

施工 第0 -0019号表

頁0-0040

施工内訳表

施工 第0 -0020号表

頁0-0041

残土付近処理

土砂

機械構成比 : 27.26%

小規模(標準)

労務構成比 : 61.70%

材料構成比 : 11.04%

市場単価構成比 : 0.00%

1 m 3 当り
標準単価 :

バックホウ (クローラ型) [標準型]
排ガス2次∴山積0. 28m³

代表機材規格	構成比	単位	単価	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ (クローラ型) [標準型] 排ガス2次∴山積0. 28m ³	27.26%	供用日		バックホウ (クローラ型) [標準型] 排ガス2次		
特殊運転手	61.70%	人		運転手 (特殊)		
軽油	11.04%	L		軽油 パトロール給油		
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						
土質:土砂 豪雪割増:豪雪割増 工種条件と同じ				作業内容: 小規模(標準)		

施工内訳表

施工 第0-0021号表

頁0-0042

パイプライン基礎(砂・砂質土)

購入土(砂、砂質土)

コンパクタ(締固区分I)

10 m³ 当り

考

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.25	人			
特殊作業員	0.20	人			
普通作業員	0.92	人			
諸雑費	12.00	%			
バックホウ(クローラ型)(機械賃料) 山積0.28(平積0.2)m ³ 排対型2次:賃料長期割引有(30日以上)	0.30	日			施工 第0-0022号表
軽油	6.3	L			
特殊運転手	0.19	人			
*** 合計 ***	10	m ³			
*** 単位当り ***	1	m ³			
材料区分: 購入土(砂・砂質土) 作業区分・締固区分: コンパクタ(締固区分I) 1工事当たり機械総供用日数区分: 30日以上			材料投入機械の規格区分: 山積0.28m ³ (平積0.20m ³) 排対 材料単価(円/m ³):		

バックハウ(クローラ型) (機械賃料)

山積0.28(平積0.2)m³

施工内訳表

施工 第0 -0022号表

頁0-0043

1 日 当り
考

施工内訳表

施工 第0 -0023号表

頁0-0044

硬質ポリ塩化ビニル管人力布設
V P 直管(両差し口) 4. 0 m

50mm管

人力

10 m 当り

考

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
硬質ポリ塩化ビニル管(一般管) V P 径50 長4.0 m	2.44	本			
雑材料費	2.70	%			
土木一般世話役	0.14	人			
特殊作業員	0.18	人			
普通作業員	0.22	人			
*** 合計 ***	10	m			
*** 単位当たり ***	1	m			
管種区分: V P 直管(両差し口) 4. 0 m 接合箇所数(箇所／10 m) : 10			管径区分: 50mm管		

施工内訳表

施工 第0 -0024号表

頁0-0045

管理設シート設置

幅400mm (シングル)

数 量 計 算 書

計算調書

レベル4(細別)	レベル5(規格)	算式	数量	総量	単位	備考
土工						
掘削	ポリ製保護工 (耕地内)	$1.90^{[m^3/\text{箇所:図面より}]} \times 58^{[\text{箇所}]} =$	110.20			
	分水口D保護工 (道路埋設)	$3.90^{[m^3/\text{箇所:図面より}]} \times 1^{[\text{箇所}]} =$	3.90			
	分水口D	$1.90^{[m^3/\text{箇所:図面より}]} \times 0^{[\text{箇所}]} =$				
	排泥工(耕土)	$1.03^{[B7]} \times 0.30^{[H]} \times 4.0^{[m]} \times 4^{[\text{箇所}]} =$	4.94			
	排泥工	$((0.44^{[B1]} + 0.85^{[B6]})/2) \times 0.695^{[H]} \times 4.0^{[L]} \times 4^{[\text{箇所}]} =$	7.17			
		計	126.21	÷	126	m3
埋戻(発生土)	(耕地内)	$1.30^{[m^3/\text{箇所:図面より}]} \times 58^{[\text{箇所}]} =$	75.40			
	分水口D	$2.20^{[m^3/\text{箇所:図面より}]} \times 1^{[\text{箇所}]} =$	2.20			
	分水口D	$1.30^{[m^3/\text{箇所:図面より}]} \times 0^{[\text{箇所}]} =$				
	排泥工(耕土)	$1.03^{[B7]} \times 0.30^{[H]} \times 4.0^{[m]} \times 4^{[\text{箇所}]} =$	4.94			
	排泥工	$((0.61^{[B1]} + 0.85^{[B6]})/2) \times 0.40^{[H]} \times 4.0^{[L]} \times 4^{[\text{箇所}]} =$	4.67			
		計	87.21	÷	87	m3

計算調書

レベル4(細別)	レベル5(規格)	算式	数量	総量	単位	備考
同投入		$87.21^{[\text{埋戻}]} / 0.9 =$	96.90	97	m3	
残土付近処理	まきだし	$126.21^{[\text{掘削}]} - (87.22^{[\text{埋戻}]} / 0.9) =$	29.30	29	m3	
砂基礎		$((0.44^{[B1]} + 0.61^{[B6]}) / 2) \times 0.295^{[H]} \times 4.0^{[L]} \times 4^{[\text{箇所}]} =$	2.48			
		$((0.095^2 \times 3.14) / 4) \times 4.0^{[L]} \times 4^{[\text{箇所}]} \times -1 =$	△ 0.11			
		計	2.37	2.4	m3	
砂		$2.37^{[m3]} \times 1.32^{[\text{割増}]} =$	3.13	3.1	m3	
給水弁取付管	VP $\phi 50\text{mm}$	給水弁・保護工数量調書より	132.00	132	m	
TSエルボ	$\phi 50\ 90^\circ$	$23^{[\text{箇所:ボールバルブ数}]} \times 5^{[\text{個}]} =$	115.000	115.00	個	

計算調書

レベル4(細別)	レベル5(規格)	算式	数量	総量	単位	備考
弁改修						
給水弁(電磁式) φ50mm設置工		給水弁・保護工数量調書より	97.00	≒ 97.0	箇所	G2000
給水弁(電磁式) φ40mm設置工		"	1.00	≒ 1.0	箇所	G2100
樹脂製ボールバルブ	50A	"	23.000	≒ 23.0	個	
樹脂製ニップル	50A	樹脂製ボールバルブ数	23.000	≒ 23.0	個	
給水弁保護工 設置(耕地内)		給水弁・保護工数量調書より	58.000	≒ 58.0	箇所	G3000
給水弁保護工 設置(道路内)		"	1.000	≒ 1.0	箇所	G3100
排泥工			4.000	≒ 4.0	箇所	G5000
排泥処理工			4.000	≒ 4.0	箇所	G5100
管埋設シート設置		4.0[m] × 4[箇所] =	16.000	≒ 16.0	m	
埋設表示テープ			16.000	≒ 16.0	m	

計算調書

計算調書

レベル4(細別)	レベル5(規格)	算式	数量	総量	単位	備考
産業廃棄物処理						
運搬費						
	石綿管 $\phi 75$	$((0.095 \times 3.14)/4) \times 3.0^{[m/箇所]} \times 4^{[箇所]} =$	0.895			
	石綿管収集運搬	$\sim 5m^3$ (0.895m ³)	1.000	\doteq	1.0	車
処理費						
	石綿管処理	$((0.095 \times 3.14)/4) \times 3.0^{[m/箇所]} \times 4^{[箇所]} =$	0.895	\doteq	0.9	m ³

計算調書

レベル4(細別)	レベル5(規格)	算式	数量	総量	単位	備考
安全費						
半面形防塵マスク		$4^{[回]} \times 2^{[人]} =$	8.000	≒ 8.0	個	
化学防護服		$4^{[回]} \times 2^{[人]} =$	8.000	≒ 8.0	着	
シューズカバー		$4^{[回]} \times 2^{[人]} =$	8.000	≒ 8.0	足	
化学防護手袋	12双/袋	$(4^{[回]} \times 2^{[人]}) / 12^{[双/袋]} =$	0.667	≒ 1.0	袋	
防護メガネ		$4^{[回]} \times 2^{[人]} =$	8.000	≒ 8.0	個	
使用回数		$2^{[日:想定]} \times 2^{[回:午前、午後]} =$	4.000	≒ 4.0	回	
ビニルフィルム	0.1mm×185cmw	$(12.0^{[m]} + 1.0^{[両端]}) \times 2^{[枚]} =$	26.000	≒ 26.0	m	
	必要幅	$(0.075^{[m]} \times 3.14) + 0.1^{[重]} =$	0.336			
		※W185を2枚				

【上松川プロック】給水弁・保護工数量調書

		計 画		備 考
路線名	口径	数量	保護工 保護蓋	取付管
1-1-5-10	50	1	ボリ製 縞鋼板蓋	1
1-2-4-12	50	1	共用	4 1-5共用
1-3-3-12	50	1	Con製 縞鋼板蓋	
1-4-4-10	50	1	ボリ製 縞鋼板蓋	
1-5-4-11	50	1	ボリ製 縞鋼板蓋	
1-6-4-11	50	1	ボリ製 縞鋼板蓋	
1-7-4-12	50	1	共用	4 1-6共用
1-8-5-10	50	1	共用	4 1-9共用
1-9-3-11	50	1	ボリ製 縞鋼板蓋	
1-10-6-9	50	1	ボリ製 縞鋼板蓋	
1-11-5-10	50	1	共用	4 1-10共用
1-12-5-10	50	1	共用	4 1-13共用
1-13-4-9	50	1	ボリ製 縞鋼板蓋	
1-14-5-7	50	1	ボリ製 縞鋼板蓋	
1-15-5-8	50	1	共用	4 1-14共用
1-16-6-8	50	1	共用	4 1-17共用
1-17-5-7	50	1	ボリ製 縞鋼板蓋	
1-18-5-3	50	1	ボリ製 縞鋼板蓋	
1-19-6-5	50	1	共用	4 1-18共用
1-20-5-5	50	1	共用	4 1-21共用
1-21-5-3	50	1	ボリ製 縞鋼板蓋	
1-22-4-4	50	1	ボリ製 縞鋼板蓋	
1-23-2-2	廃止			
1-24-3-2	50	1	ボリ製 縞鋼板蓋	
1-25-4-1	50	1	共用	2 1-24共用
1-26-5-1	50	1	共用	2 1-24共用
1-27-6-4	50	1	ボリ製 縞鋼板蓋	
2-1-6-6	50	1	ボリ製 縞鋼板蓋	
2-2-6-6	50	1	ボリ製 縞鋼板蓋	
2-3-5-5	50	1	ボリ製 縞鋼板蓋	
2-4-6-4	50	1	ボリ製 縞鋼板蓋	
2-5-4-3	50	1	ボリ製 縞鋼板蓋	
2-6-5-3	50	1	共用	2 2-5共用
2-7-5-2	50	1	ボリ製 縞鋼板蓋	
2-8-3-1	50	1	ボリ製 縞鋼板蓋	
2-9-3-1	50	1	共用	2 2-8共用
3-1-5-6	50	1	共用	4 1-3-2共用
3-2-6-5	50	1	ボリ製 縞鋼板蓋	
3-4-5-6	50	1	共用	4 1-3-3共用
3-3-6-5	50	1	ボリ製 縞鋼板蓋	
3-5-5-3	50	1	共用	4 1-3-6共用
3-6-6-4	50	1	ボリ製 縞鋼板蓋	
3-7-6-4	50	1	ボリ製 縞鋼板蓋	
3-8-5-7	50	1	共用	4 1-3-7共用
3-9-5-2	50	1	共用	8 1-3-10共用

【上松川】 プロツク 給水弁・保護工数量調書

		計 画		備考
路線名	口径	数量	保護工	保護蓋 取付管
3-10-6-1	50	1	ボリ製	縞鋼板蓋
3-11-6-1	50	1	ボリ製	縞鋼板蓋
3-12-4-2	50	1	共用	
3-13-6-2	50	1	共用	
3-14-6-1	50	1	ボリ製	縞鋼板蓋
3-15-6-7	50	1	ボリ製	縞鋼板蓋
3-16-3-7	50	1	共用	
3-17-4-8	50	1	共用	
3-18-6-8	50	1	ボリ製	縞鋼板蓋
3-19-4-9	50	1	ボリ製	縞鋼板蓋
3-20-5-9	50	1	共用	
3-21-3-10	廃止			
4-1-5-3	50	1	共用	
4-2-6-2	50	1	ボリ製	縞鋼板蓋
4-3-6-3	50	1	ボリ製	縞鋼板蓋
4-4-5-4	50	1	共用	
4-5-4-8	50	1	共用	
4-6-5-7	50	1	ボリ製	縞鋼板蓋
4-8-5-8	50	1	共用	
4-7-4-7	50	1	ボリ製	縞鋼板蓋
4-9-5-9	50	1	ボリ製	縞鋼板蓋
4-11-4-10	50	1	ボリ製	縞鋼板蓋
4-10-2-10	50	1	共用	
4-13-4-12	50	1	ボリ製	縞鋼板蓋
4-12-3-12	50	1	共用	
4-14-4-11	50	1	ボリ製	縞鋼板蓋
5-1-5-12	50	1	ボリ製	縞鋼板蓋
5-2-4-12	50	1	共用	
5-3-3-12	50	1	共用	
5-4-4-12	50	1	ボリ製	縞鋼板蓋
5-5-4-12	50	1	共用	
5-6-3-11	50	1	ボリ製	縞鋼板蓋
5-8-2-8	50	1	ボリ製	縞鋼板蓋
5-9-3-10	50	1	共用	
5-10-4-9	50	1	ボリ製	縞鋼板蓋
5-11-2-9	50	1	共用	
5-14-4-6	50	1	ボリ製	縞鋼板蓋
5-15-2-6	50	1	共用	
6-2-7-9	50	1	ボリ製	縞鋼板蓋
6-1-2-11	50	1	共用	
6-5-3-10	50	1	共用	
6-4-4-11	50	1	ボリ製	縞鋼板蓋

【上松川プロック】給水弁・保護工数量調書

		計 画		備 考
路線名	口径	数量	保護工	保護蓋 取付管
6-8-5-6	50	1	ボリ製	縞鋼板蓋 I
6-9-1-3-6	40	1	ボリ製	縞鋼板蓋 I
6-10-4	廃止			
6-10-1-2-8	50	1	ボリ製	縞鋼板蓋 I
6-10-2-1-11	廃止			
6-12-4-11	50	1	ボリ製	縞鋼板蓋 I
6-13-3-7	50	1	ボリ製	縞鋼板蓋 I
6-14-2-7	50	1	ボリ製	縞鋼板蓋 I
7-1-4-5	50	1	ボリ製	縞鋼板蓋 I
7-2-4-5	50	1	ボリ製	縞鋼板蓋 I
7-3-5-3	50	1	ボリ製	縞鋼板蓋 I
7-4-5-4	50	1	共用	
7-5-5-2	50	1	ボリ製	縞鋼板蓋 I
7-6-5-1	50	1	ボリ製	縞鋼板蓋 I
7-7-3-2	50	1	共用	2 7-6共用
合計		98	98	59 132 23

【集計表】

(計画)

名 称	規 格	數 量	名 称	規 格
	50	97	保護工	Con製
電磁弁	40	1		塩ビ製
	30	0		計
	計	98		銹鉄製
保護工	ボリ製	58		塩ビ製
	Con製	1	保護蓋	縞鋼板蓋
共用	39			計
	計	98		
保護蓋	縞鋼板蓋 I	58		
	縞鋼板蓋 II	1		
	縞鋼板蓋 III	0		
	計	59		

グループ単価

グループ単価計算調書

レベル4(細別)	レベル5(規格)	算 式	数量	総量	単位	備考
G2000	給水弁設置50A		1箇所当たり			
Bluetooth無線式自動かん水タイマー	50A		1.000	≒ 1.00	基	
プレハブジョイント	50A		1.000	≒ 1.00	個	
樹脂製ニップル	50A		1.000	≒ 1.00	個	
ユニット組立費		ユニット: 自動灌水タイマー、プレハブジョイント、ニップル	1.000	≒ 1.00	式	
バルブソケット	50A		2.000	≒ 2.00	個	
TSソケット	φ 50	既設管との接続	2.000	≒ 2.00	個	
TSエルボ	φ 50 90°		4.000	≒ 4.00	個	
VP50		接合箇所 10箇所/10m	1.600	≒ 1.60	m	

グループ単価計算調書

レベル4(細別)	レベル5(規格)	算 式	数量	総量	単位	備考
G2100	給水弁設置40A		1箇所当たり			
Bluetooth無線式自動かん水タイマー	40A		1.000	≒ 1.00	基	
プレハブジョイント	40A		1.000	≒ 1.00	個	
樹脂製ニップル	40A		1.000	≒ 1.00	個	
ユニット組立費		ユニット: 自動灌水タイマー、プレハブジョイント、ニップル	1.000	≒ 1.00	式	
バルブソケット	40A		2.000	≒ 2.00	個	
TSソケット	Φ 40	既設管との接続	2.000	≒ 2.00	個	
TSエルボ	Φ 40 90°		4.000	≒ 4.00	個	
VP40		接合箇所 10箇所/10m	1.600	≒ 1.60	m	

グループ単価計算調書

レベル4(細別)	レベル5(規格)	算 式	数量	総量	単位	備考
G3000	給水弁保護工設置(耕地内)		1箇所当たり			
高密度ポリエチレン管	φ1000mm	25kg/0.5m	0.500	≒	0.50	m
普通作業員	カタログ歩掛	0.50 ^[m] × 0.052 ^[人/m] =	0.026	≒	0.03	人
管切断 φ1000		令和6年度 水道事業実務必携P97 「ポリエチレン管切断」参照				
	配管工	0.02 ^[φ200] × 5.0 ^[比率] =	0.100	≒	0.10	人
	普通作業員	0.02 ^[φ200] × 5.0 ^[比率] =	0.100	≒	0.10	人
	諸雑費	労務費の7%	7.000	≒	7.00	%
ポリエチレン管円周比率	φ200: φ1000	(1.0 × 3.14) / (0.2 × 3.14) =	5.000			
縞鋼板蓋 t=4.5mm	CHPL-4.5 × φ 1100		1.000	≒	1.00	式
同上蓋設置	2分割	40kg以下/枚	2.000	≒	2.00	枚
基礎碎石	再生クラッシャーランRC-40 t=200	1.30 ^[W] × 1.30 ^[L] =	1.690	≒	1.69	m2

グループ単価計算調書

レベル4(細別)	レベル5(規格)	算 式	数量	総量	単位	備考
G3100	給水弁保護工設置(道路埋設)		1箇所当たり			
分水口布設	D型		1.000	≒	1.00	カ所
縞鋼板蓋 t=4.5mm	CHPL-4.5×1070 ×1070		1.000	≒	1.00	式
同上蓋設置	2分割	40kg以下/枚	2.000	≒	2.00	枚
基礎碎石	再生クラッシャーランRC-40 t=200	1.36 ^[W] × 1.36 ^[L] =	1.850	≒	1.85	m ²

グループ単価計算調書

レベル4(細別)	レベル5(規格)	算 式	数量	総量	単位	備考
G5000	排泥工(耕地内)		1箇所当たり			
ゲートバルブ設置	50A		1.000	≒	1.00	個
TSメタル入りバルブソケット	φ 50mm		1.000	≒	1.00	個
鋼管	50A		1.000	≒	1.00	m
鋼管切断	50A		1.000	≒	1.00	力所
鋼管ねじ切り	50A		2.000	≒	2.00	力所
鋼管接合	50A		2.000	≒	2.00	口
ドレッサーチーズ離脱防止付	75 × 50A		1.000	≒	1.00	個
VH管布設	φ 75mm	接合箇所3箇所／10m	3.000	≒	3.00	m
VAドレッサージョイントゴム輪	塩ビ管用 φ 75mm用		1.000	≒	1.00	個
"	石綿管用 φ 75mm用		1.000	≒	1.00	個
VP φ 150mm	保護管		0.800	≒	0.80	m
基礎碎石	RC-40 t=20cm	0.30 ^[W] × 0.30 ^[L] =	0.090	≒	0.09	m2
塩ビ製キャップ	φ 150mm		1.000	≒	1.00	個

グループ単価計算調書

レベル4(細別)	レベル5(規格)	算 式	数量	総量	単位	備考
G5100	排泥処理工(耕地内)		1箇所当たり			
ヒューム管布設	φ 500mm		2.430	≒	2.43	m
基礎碎石	RC-40 t=30cm	0.80 ^[W] × 0.80 ^[L] =	0.640	≒	0.64	m ²
VP φ 50			1.500	≒	1.50	m
縞鋼板蓋 t=4.5mm	CHPL-4.5 × φ 580		1.000	≒	1.00	枚
縞鋼板蓋設置	12.0kg		1.000	≒	1.00	枚

グループ単価計算調書

グループ単価計算調書